アジア経済交流セミナー

中国習近平政権の今後の政治・経済動向と日中ビジネスのあり方

日時 2025年 3月6日(木) 14:00~16:00

参加費 無料

会場 / Web 併催

今年の中国は内憂外患の烈度が一段と強まる年になるでしょう。昨年は対米関係の悪化や経済の失速、社会不安の増大といった問題に翻弄されましたが、今年はトランプ2.0による外需悪化リスクも加わり、米中関係がさらに厳しくなることが予想されます。これに伴い、経済も出口が見えない状況がしばらく続くでしょう。
こうした中、日本企業は中国とどう向き合えばいいのか。これまで以上に習近平中国の政治や経済に対する理解を深め、正確な対中認識を持つことが重要となります。的確な対策は、綿密な情勢分析からしか生まれません。さあ、学「習」に磨きをかけましょう！

講師　伊藤忠中国総合研究所 顧問
古屋（ふるや）　明（あきら）　氏

[講師略歴]
1947年東京生まれ。72年3月東京外国語大学中国語学科卒業、4月伊藤忠商事入社。
81～86年上海、91～93年天津、94～98年大連に駐在。この間、機械、プラント、自動車、化学品など多岐に亘る業務に従事、同時に数多くの対中合弁事業の設立に関与。98年から本社でアジア・中国・大洋州室室長に就任。
中国、香港、台湾、タイ、シンガポールなどアジア各地に出張。
06年伊藤忠中国総合研究所（中総研）設立と同時に代表に就任し中国の政治、経済などマクロ調査、分析を行い、経営トップに助言。12年から中総研顧問に就任し、伊藤忠が発行する月刊機関誌「グローバルセンサー」に中国政治経済に関する文章を執筆。
現在、中総研顧問として定期的に中国情勢をレクチャーする傍ら、下記団体に所属し、対中関連事業に従事。
・（一社）日中経済貿易センター参与として日本企業の対中投資事業などに従事。
・亜細亜大学国際関係学部特任教授を経て現在、中国経済講義を担当。
・日本中央競馬会（JRA）評議員として日本の競馬システムの対中普及事業に関与。
・時事通信社が主催する内外情勢調査会で中国の政治・経済情勢を定期的に講演。
・その他、21世紀政策研究会、資源日報社など各業界団体で中国政経情報を講演。

会場

（公財）富山県新世紀産業機構
技術交流ビル１階 デジタルハブ
（富山市高田529　駐車場無料）

Web参加の方には視聴用URLをお送りします。

お申込み

Webよりお申込みください。
申込期限：3月4日（火）正午まで

https://www.near21.jp/kan/seminar/202503.html

主催：(公財) 富山県新世紀産業機構
後援：富山県、ジェトロ富山、北陸AJEC

（公財）富山県新世紀産業機構　アジア経済交流センター
TEL: 076-432-1321　E-mail： asia@tonio.or.jp